



～建築は、建てることより育てること～

MIZUNO "旬感"だより

vol.182

令和4年4月号

はるあかね
春茜

春の穏やかな夕焼け

弊社は1950年4月1日に創業しました。今月から72年目スタートです。引き続きよろしくお願い致します。

今月の言葉

『歩歩是道場』

藤尾秀昭著 『長の十訓』より

歩歩是道場、という言葉がある。禅の言葉である。日常の一挙手一投足、そのすべてが自己を鍛える道場だ、という意味である。「歩歩とはいま、このこと」

百歳の禅僧松原泰道師(故人)にそう教わった。道場は静謐な山中にだけあるのではない。いま、自分が置かれてる立場、状況は、そのまま自己を磨く道場である。いつであれ、どんな所であれ、心がけ次第で自分を高める修行の場になる。また、そういう生き方をしなければならぬ。―泰道師の声はいまも耳の奥に響いている。

歴史に鮮やかな軌跡を残した人は、一様に歩歩是道場を体現した人である。例えば、西郷隆盛である。

西郷は島津久光の逆鱗に触れ、三十六歳で徳之島へ、さらに沖永良部島に遠島となる。沖永良部島は鹿児島から五百三十六キロ。四十年前はフェリーで二十数時間を要した。いまでも十七、八時間かかる。西郷の時代はその距離を船頭が人力で漕いでいたのである。

当時、この島に流されるのは死刑に次ぐ重刑だった。西郷はその島で戸も壁もない獣の檻のような吹きさらしの獄舎に幽閉された。同時に一族郎党を含め、西郷家の財産はすべて没収されていた。

常人なら絶望に打ちひしがれて不思議はない。この状況の中で西郷は八百冊の本を詰めたる行李三つを獄舎に持ち込み、猛烈な勉強を始めるのである。西郷が友人の桂右衛門に送った手紙がある。「徳之島より当島(沖永良部島)へ引き移り候処、直様牢中に召し入れられ却って身の為には有難く、余念なく一筋に志操を研ぎ侯事にて、(中略)益々志は堅固に突き立て申す事にて、御一笑成し下さるべく候」

歩歩を道場とした大西郷の面目躍如である。西郷は遠島流罪という悲運の場を、徹底した自己研鑽に励むことで最高の修養の場と化したのだ。

西郷さんの獄舎と、現在の自粛生活も同じようなものですね。私も西郷さんになったつもりで読書して自己研鑽に励みます。



one step a day
一日一歩

水野博旨



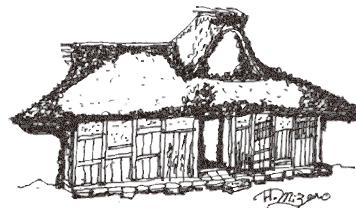
旬のはなし

柏餅、なぜ“柏の葉”を使った？

—こんな意味も込められています—

端午の節句に食べる柏餅は、江戸時代の江戸で作られ始めたようです。柏の葉は古代から食べ物を盛る器として使われており、殺菌作用のある成分が含まれているので腐敗防止に、さらに葉で包むことでほのかな香り付けと乾燥防止にもなります。子どもが手で持って食べやすいことも好都合ですね。そして、柏の葉は新芽が出るまで古い葉が落ちないことから、家系を絶やさない＝子孫繁栄の意味が込められています。江戸の武士たちにとって家を絶やさぬことはとても重要なこと。当時は今ほど寿命が長くなかったので、親も子どもが独り立ちするまで健康でいられるように…という願いも込められたでしょう。子どもの健やかな成長を願う端午の節句に、縁起担ぎの柏餅が江戸で流行った後、参勤交代で全国に広まったのですが、包む葉が違ったり、中の餡子に特徴があったり…各所でご当地柏餅が誕生していったようです。ちなみに、端午の節句に欠かせないもう一つのお菓子“ちまき”は、節句の文化とともに中国から伝わったものです。

“屋根より高い鯉のぼり～♪”は最近めっきり見かけなくなりましたが、あちこちで気持ちよさそうに泳ぐ鯉のぼりを目にするのも、この時期の楽しみですね！



伝統再築士による

古民家&日本建築講座

伝統再築士とは…次世代に引継ぎたい文化的価値の高い木造物を残すための専門家

寝殿造、書院造、数寄屋造…政治や文化、暮らしと深い繋がりがある日本の建築様式。今回は書院造の特徴についてお伝えします。



銀閣寺東求堂、二条城二の丸御殿、名古屋城本丸御殿などが代表的な建物である書院造は、室町時代から江戸時代初頭にかけて成立した住宅様式です。寝殿造は主人の居室を中心としていましたが、書院造はその名の通り書院を建物の中心にしていることが特徴で、現在の日本家屋の基盤にもなっています。

書院とは“書斎”のことで、元々は僧侶の居間兼書斎の呼び名だったそうです。後に座敷飾り(床の間、付書院、違い棚など)を備えた部屋を書院と呼ぶようになりました。鎌倉時代以降、政治や文化の主導が貴族から武士へと移っていく中で、武士が書院を重要な場所として使うようになり確立された様式なので“武家造”とも呼ばれます。

初めはプライベートな空間として使われた書院ですが、武士の社会的地位の向上に伴い、時代が下るにつれて交渉や情報交換などをする接客の場、更に儀式の場など公的空間としても使われるようになりました。



株式会社 ミズノ
ホームページ

只今メンテナンス中です。
近々リニューアル予定ですので、
もう少しお待ちください。

空間設計 ミズノ
ホームページ

www.mizuno-architects.com



第67回ミズノメセナイイベントのご案内 ~1年ぶりの開催!いよいよ今月末です!!~

92歳が描くモノクロの“ボールペン画”と、色彩きらめく光のアート“ローズウィンドウ” 対照的な世界

ボールペン画

飯田正廣

ローズウィンドウ

薬師寺智子

親子展

4月28日(木)~5月1日(日)

10:00~17:00

場所 | 株式会社ミズノ1階 ヴィレポヌール (名古屋市港区)
※地下鉄名港線 東海通駅1番出口より徒歩3分



ローズウィンドウ体験教室 対象：小学生以上

4/29(金)・30(土) 午後1時30分~ (定員各6名・要予約)
(残席わずか)

右の作品の中から作りたいものを選んでいただけます。(当日選んでいただいても大丈夫です。)

- 参加費：1500円~3000円 (材料費含む)
- 所要時間：30分~2時間程度
- 持ち物は不要です。

※お席が空いたら、当日受付もOKです。



飯田正廣・ボールペン画

1930年生まれ、名古屋市港区在住。1995年からボタニカルアート・パステル画を描き始め、2014年からボールペン画を習い始める。

薬師寺智子・ローズウィンドウ

1961年生まれ、名古屋市熱田区在住。1984年に京都市立芸術大学 美術学部 デザイン科環境デザイン専攻卒業。現在、絵画造形教室アトリエキッズ主宰。

2017年には市民ギャラリーにて「飯田正廣 米寿記念ファミリー展」を開催し、私達家族の作品を大勢の方に見ていただきました。



※新型コロナウイルス感染防止に細心の注意を払い開催致します。お客様におかれましても、感染防止策へのご協力を頂きますようお願い申し上げます。

空間設計 ミズノ 作品紹介

NEO Kato jidosha



弊社が進めており、2月に完成した自動車のショールーム「NEOカトウ自動車 販売館」を紹介します。ここは車の販売業務や保険業務等を行う場所として設計しました。3.5mの高い天井の空間に対し、大きな窓を3方向に設け開放感のある空間をつくり、外の車の納車スペースは半屋外空間でありながらも内部と連続した一体空間になるように計画しました。外観デザインは天井高から自然と導きましたが、それが特徴になりました。地域のシンボルとしてあり続けてほしいと思います。

空間設計ミズノ 水野真宏



ありがとう
ございました



先月15周年を迎えたこの旬感だより。多くの方にお祝いや賛辞のお言葉をいただき、とても励みになりました。ますます皆さんに喜んでいただけるよう、試行錯誤して作っていきます。今後も楽しみにしててください!

引き続き!

旬感だより 15周年記念プレゼント!



人気コーナー“今月の言葉”から選りすぐりの21話を1冊にしたベストセレクト集。予想外に多くの方からお申込みがありました!引き続き受け付けております。

かばんの中に入れておいて、ちょっとした待ち時間にも読んでいただけます。(四つ折りの旬感だよりと同じサイズです)

電話・FAX・メールにてご連絡下さい。
電話 0120-387-312/052-652-6886
メール mizuno@mizuno1950.co.jp



住宅・店舗の設計・施工・監理
株式会社 ミズノ

〒455-0001
名古屋市港区七番町5丁目3番地
TEL: 052-652-6886
FAX: 052-661-0653
Web: www.mizuno1950.co.jp
Mail: mizuno@mizuno1950.co.jp

☎ 0120-387-312



・駐車場は社屋南側と郵便局側にございます。
・市営地下鉄「東海通駅」下車、1番出口より徒歩3分

一級建築士事務所
空間設計 ミズノ

〒461-0025
名古屋市東区徳川一丁目10-3
名古屋陶磁器会館2階204号室
TEL: 052-982-8316
FAX: 052-982-8357
Web: www.mizuno-architects.com

住宅設計・デザインリフォーム・商店設計
コンバージョン(用途変更)・など



・最寄りの駅 市営地下鉄 桜通線 高岳駅(徒歩20分)
・最寄りのバス停 市バス 赤塚バス停・赤塚白壁バス停